

2024年2月吉日

会員各位

一般社団法人 日本内視鏡外科学会
技術審査委員会（消化器・一般外科領域）委員長 黒柳 洋弥

日本内視鏡外科学会技術認定制度（消化器・一般外科領域）
食道・胃・大腸 ロボット支援手術症例ビデオの録画ルールについて

2024年10月締め切り予定の2024年度の申請より、ロボット支援手術症例ビデオの録画ルールを変更いたします。次ページの2023年8月に公表したルールから変更になっていますので必ずご確認ください。

なお、申請にあたっては、「応募の手引き」をよくご確認ください。

記

【2024年度申請時のルール（改訂）】

1. アノテーションやステータスエリアの収録要否は定めない。ただし、収録している場合には審査の参考となる場合があります。
2. デュアルコンソールを用いて術者以外がアームやカメラを操作しないこと。ポインターの使用は可とする。

※ ステータスエリアを収録する場合は、施設名や術者名がビデオに映る場合がありますので、申請前に必ず確認のうえ編集してから提出してください。

※ 2023年8月の通知では、アノテーションやステータスエリアの収録を必須としていましたが、変更となりました。デュアルコンソールの使用に関するルールも変更しています。

以上

旧文書
(2023年8月版)

2023年8月吉日

会員各位

一般社団法人 日本内視鏡外科学会
技術審査委員会（消化器・一般外科領域）委員長 黒柳 洋弥

日本内視鏡外科学会技術認定制度（消化器・一般外科領域）
食道・胃・大腸 ロボット支援手術症例ビデオの録画ルールについて

2023年10月31日締め切りにて募集している2023年度技術審査（消化器・一般外科領域）より受付を開始しましたロボット支援手術症例の録画映像には特有のルールがありますので、改めて下記の通りお知らせします。2024年度の申請から追加する予定のルールもありますので、録画の設定にはご注意ください。

なお、申請にあたっては、「応募の手引き」をよくご確認ください。

記

【2023年度申請時のルール】

1. アノテーション機能を使用した場合、アノテーションが収録されているビデオを提出すること（アノテーションの意図的な編集は、ビデオの偽装と判断されます）。
2. デュアルコンソールを使用していない症例のビデオを提出すること。

【2024年度申請より追加予定のルール】

3. ステータスエリアの情報が収録されているビデオを提出すること。

以上